

医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

外科的矯正治療における術前後の注視点変化の解析

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年1月から2020年3月までに昭和大学歯科病院矯正歯科・顎顔面口腔外科にて外科的矯正治療を行った方

2. 研究目的・方法

外科矯正治療の目的は、顎変形症の患者さんの口腔機能の回復の他に、顔貌の改善という審美的目的があります。しかし患者さんご自身が顔貌のどこに注意を向けるか、気にしているかという「注視点」を、我々矯正歯科の歯科医師が詳細に理解しているかどうか、共通の認識を共有して治療にあたっているかは不明です。

この患者と歯科医師間の治療における顔貌の変化に対する期待のずれを、「注視点」に着目し、「アイトラッキングシステム」を用いて検証する研究を計画しました。

「アイトラッキングシステム」とは人がどこを見ているか客観的に判断することができる装置です。このシステムで、患者と歯科医師間の治療前後の顔貌写真を見てもらい、「注視点」の違いを検討する研究を行うことにより、研究結果を外科矯正治療の手術の設定に反映し、将来より患者さんが手術後の顔貌に対して満足いただけるように役立てていけるのではないかと考えています。

なおこの研究は昭和大学歯学部歯科矯正学講座の研究費で実施する臨床研究です。アイトラッキングシステムにおいては、株式会社トビーテクノロジーの装置と解析ソフトを使用します。

研究期間

昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実地許可後2023年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2010年1月から2020年3月までに昭和大学歯科病院矯正歯科・顎顔面口腔外科にて外科的矯正治療を行った方の写真

昭和大学歯科病院矯正歯科に在籍する歯科医師対象の視覚材料として用います。
視覚材料として心理的影響を与えるおそれのある以下の要素を含むものは除外対象とします。

- 1) 大きな傷痕、もしくは先天的な欠損
- 2) 奇抜なヘアスタイルや染色
- 3) タトゥーや過度な装飾品
- 4) 過度な化粧
- 5) その他研究者のよって注意散漫を促すと評価されたもの

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：歯学部歯科矯正学講座 氏名：小倉 董

住所：東京都大田区北千束 2-1-1 電話番号：03-3787-1151（内線 262）（9:00～17:00）

研究責任者：榎 宏太郎